

3rd August 2021

【Notice of Article Publication on “The Nikkan Kogyo Shimbun”】

The article, “SPK Accelerates New Business. It will acquire Car Beauty Pro Co., Ltd. tomorrow.”, was published on 6<sup>th</sup> page of the morning edition of the Nikkan Kogyo Shimbun dated 14<sup>th</sup> July 2021.

Please see the article from [here](#).

SPKは、15日にカービューティープロ（東京都田舎区）の買収を完了し、主力の自動車部品卸に加え、新規事業として川下分野へ進出する。SPKでは5月策定の中長期計画でも新規事業を成長戦略の一つに掲げており、外国人整備人材の育成などにも乗り出す考え。「自動車業界は100年に1度の大変革期。我々も相応な覚悟をしないまま残れない」（沖碁一郎社長）と、新規事業の立ち上げを加速する。

**SPK、新規事業加速**



カービューティープロあす買収

自動車内外装クリーン技術指導を受けた店舗併・買収）案件として持ち込まれたのは4月。国内外の自動車部品の事業を手がける。50店を展開する。同社独自のスクールで、SPKにM&A（合併・買収）のシナジーが得られるとし、わずか3か月で即決した。買収金額は非公表。

カービューティープロのカーラッピング作業

カービューティープロはカーデザインリング業界では老舗だが、競合と比べ規模は小さい。SPKでは国内で約1000社の自動車部品商と取引があったため、整備工場などの事業拡大に向けたサードピアスとして展開し、拡大を図る。さらに東南アジアなど海外での事業展開も視野に入れる。同社では新規事業の発掘に向け、1月に社

**川下分野に進出**

内ではアイデアコンテストを実施した。社員から約60件の応募があり、当初は1件だけ選ぼうと考えていた（同）表彰は約10件に達した。この中に外国人整備人材の育成のほか、EVや電気自動車（EV）関連、eスポーツなどがあり、その一部では社内でもプロシエクトを立ち上げた。同社は中計の2024年3月期に売上高550億円、21年3月期は419億円を目指す。主力の補修部販亦是安定しているが、「成長維持を意識し、会社の競争を目指す」と社長は話す。

This article is reprinted with permission of The Nikkan Kogyo Shimbun, Ltd.